

経営比較分析表（令和2年度決算）

福島県いわき市 いわき市医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	28	対象	ド透I未訓方	救臨が感災地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
318,490	64,197	非該当	非該当	7:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

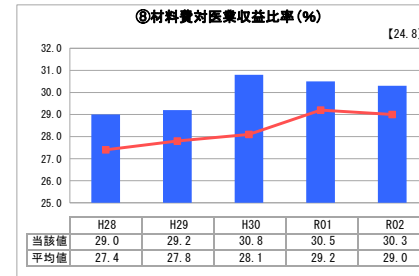
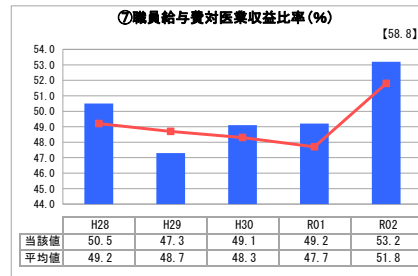
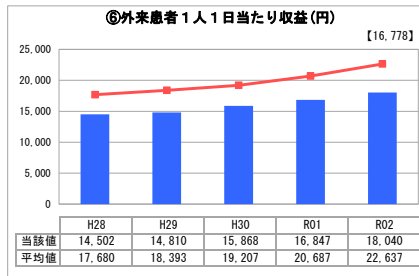
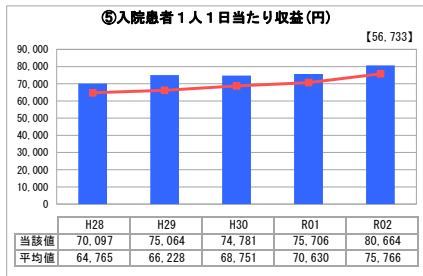
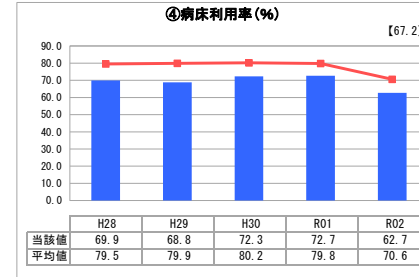
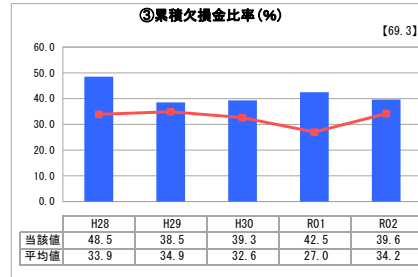
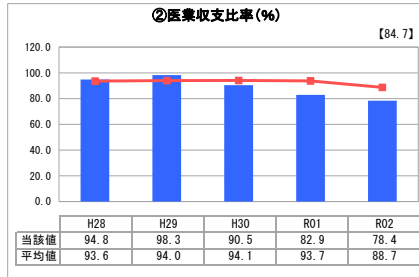
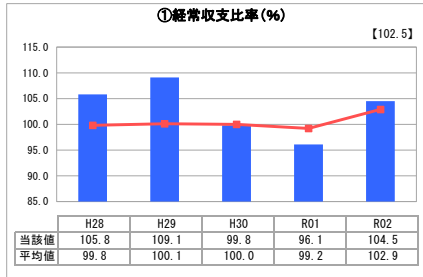
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
679	-	15
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	6	700
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
679	-	679

グラフ凡例

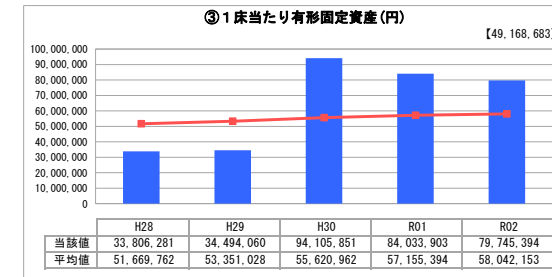
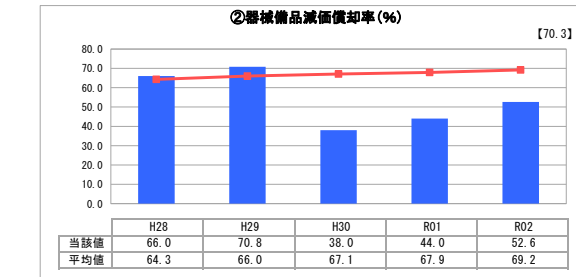
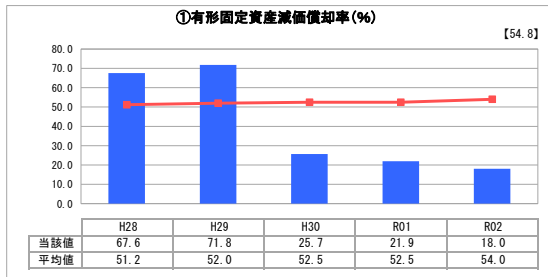
- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)

【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

医職・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成22年度	-	-
年度	-	-

I 地域において担っている役割

救命救急センターを核とした救急医療の提供をはじめ、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター等の機能を発揮し、地域の中核病院として、福島県いわき医療圏はもとより、本県浜通り地区の高度急性期医療を担うほか、臨床研修指定病院として、地域医療の将来を担う医療従事者の育成に取り組むなど、多様な役割を担っています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症患者の受入れ病床を確保したこと等により、病床確保料等の医業外収益が増え「①」は平均を上回りましたが、患者数が減少したため、「②」は平均を下回りました。「③」は、累積欠損金の減少により改善しました。「④」は、患者数の減に伴い減少しました。「⑤」は、常に平均を上回り、「⑥」は、常に平均を下回っています。医業収益の減に伴い、「⑦」は前年度を上回ったものの、「⑧」は材料費の削減に積極的に取り組んだこと等により、前年度をやや下回りました。

2. 老朽化の状況について

平成30年12月の新病院の開院と、これに伴う医療機器購入により、「①」、「②」は、平均を大きく下回っており、「③」は、平均を大きく上回っています。

全体総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ病床の確保や、国の方針に基づく予定手術・検査の延期等により、患者数、医業収益ともに減少しました。新型コロナウイルス感染症については、新たな変異株による感染拡大等により、終息が見えないため、当センターは引き続き、感染症への対応と一般医療の提供の両立を図り、地域の中核病院としての責務を果たしていく考えです。また、地域医療連携の推進を図り、新規患者の受入れに努める等、医業収益の確保に取り組むほか、働き方改革の推進など業務効率化にも取り組めます。